

【背景・目的】ハーブなどの有用植物は、大量栽培のための最適環境が同定されていないものが多い。この為、ハーブ養液栽培を目指した養液条件の最適化検証システムを構築する。

【方法】バジル6株を供試作物とし、EC、pH センサーを装着した IoT デバイスを作成し、種々養液下での時系列データをリモート計測した。

【結果】図1は、縦軸が各 EC 値の初期値 (EC_0) [$\mu\text{S}/\text{cm}$] でそれぞれの EC 値 (EC) [$\mu\text{S}/\text{cm}$] を規格化した値であり、横軸は測定経過時間 (Δt) [s] である。図1より、等倍では、減少し、5倍、10倍では、増加、1/2倍では、増加の後、減少していることがわかる。

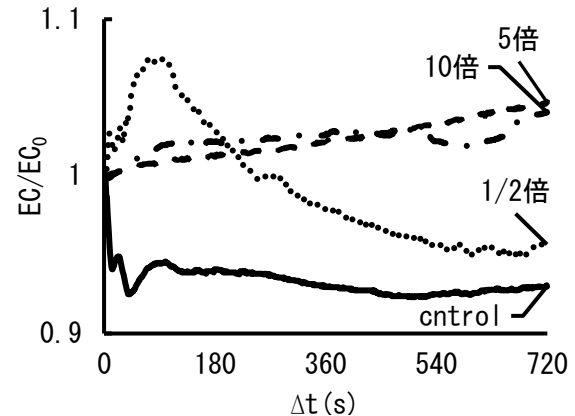


図1: 養液導電率の初期値比の比較化データ